

◆令和4年9月5日開催庁議◆

1. 市長挨拶

- 9月に入り、時間が進んでいくのを感じる。大きなイベントもあったが、業務管理工程表にもあるとおり、今年度中に予定している事業の進捗状況等について確認をお願いしたい。
- 第3回定例会が始まるため、対応をお願いしたい。来年の春には統一地方選があり、これからの定例会でそれぞれ議員の思いが述べられるものと思う。事前に議員が何を求めているのか、しっかりと受け止め、すれ違いのない答弁をしなければならない。出来ないこともあると思うが、出来ることについては応えていくことになる。

2. 議事

(1) 令和4年度災害対策本部訓練の実施について【総務部】～要点抜粋

◎資料に基づき、基地・防災課主幹説明

- 昨年度は水災害を想定して行ったが、今年度は2月の大雪を踏まえ、風雪害を想定した訓練を行う。過去の自然災害の対応を振り返り、課題の洗い出しや即時対応能力の向上を目指すことなどを目的とする。
- 訓練の検証項目は地域防災計画及び各災害対策部のマニュアル等の検証や、各種行政サービスの持続等について検証、3月に策定した業務継続計画（BCP）の実行性について検証する。また、対策本部内での情報分析や情報共有など体制の確認も行う。
- 訓練形式は例年同様のロールプレイング方式で実施し、気象状況等の状況付与について大枠は事前に伝え、詳細についてはブラインド方式とする。各対策班の班長が中心になると思うが、事前に個別相談を行うなど調整するため、協力をお願いしたい。

【実施日】11月8日（火）午前（予定）

（副市長）

訓練実施前に各対策班のマニュアルを変更、見直しするのか。

⇒実施前に現在のマニュアルが風雪害に対応したものかを見直していただき、実施後に再度見直ししていただくこととしたい。

（市長）

先日「大雪被害の検討等と方向性の検討について」で報告した変更項目等についても検証項目へ追加すること。また通常、積雪時期の前に連絡会議を実施しているため、今回も訓練前に連絡会議を実施し、それを踏まえて訓練を行った方がよい。

⇒変更項目について検証項目へ追加することとする。また訓練前に連絡会議等を行うこととする。

(2) 恵庭市議会議場コンサートの開催について【議会事務局】～要点抜粋

◎資料に基づき、議会事務局長説明

○第3回定例会初日の議会前に議場コンサートを第2回定例会に続き、開催する。今回の出演は市の職員へ依頼した。部長職等議会に参加する職員においては開始前に着席をお願いしたい。

【開催日時】 9月13日（火）午前9時25分～

※開始5分前までに着席

4. その他

【経済部緑化フェア推進室】

◎ガーデンフェスタのその後を考える検討資料の作成依頼について

ガーデンフェスタ北海道2022の終了に伴い、その成果や効果を検証し、引き継ぐことなどについての検討を行う。検討は、職員やガーデンフェスタに関わった関係者も参加する予定である。職員においては業務として携わったかどうかに関わらず、意見や提案をしていただきたい。市全体で花のまちづくりを進めていくのに協力をお願いしたい。

（市長）

ガーデンフェスタの開催については花のまちづくりだけでなく、ボランティアの動きやサポーターズクラブについても評価していただいている。こうした活動を活かした事業などがあると思う。考えられる様々な提案を幅広く募りたい。今後の恵庭のまちづくりにガーデンフェスタの経験をどう活かしていくのか職員が考える機会としたい。

【総務部】

◎防衛問題セミナーの配信登録について

次長等会議でも既に周知しているが防衛問題セミナーの開催にあたり、参加の登録が必要であるため職員においては登録をお願いしたい。

◎戦車射撃大会の視察の案内について

10月末に開催される戦車射撃訓練について、今年度においては庁議メンバー分の参加枠をお願いしている。行く場合は何日かに分け行くこととなるが、貴重な体験ができるため積極的な参加をお願いしたい。

◎自衛隊記念行事への参加について

南恵庭駐屯地の記念行事の案内が総務部長、企画振興部長、生活環境部長、経済部長、教育部長宛に来ており、案内範囲について確認したが前例どおりであり事由が不明

であった。千歳市では全部長職が参加し、市役所一丸となって部隊と連携しているため、本市も次年度から記念行事については全部長職へ案内いただき、配車の手配も含め基地・防災課で取りまとめたいと考えているため、部長職においては極力参加いただくようお願いしたい。

◆令和4年9月13日開催庁議◆

1. 市長挨拶

- 定例会開催期間は庁議を行わないこととしているが、今回10月1日付の組織改革があること、また例年の中期財政収支見通しについてお示しし、ご意見をいただきたく臨時庁議を開催する運びとなった。
- 今日から第3回定例会が始まった。代表質疑等もあるため、各自準備を進めていただきたい。
- 先般、2月の大雪について検証を行った。こうした事態を見据え、体制を組まなければならない。自分の部署だけでなく、経験をもとに様々な想定をして対策していただきたい。何ができるか、何をしなければならないか検討していただきたい。来月には事前準備の会議を開催する。その際にも様々な意見をいただき、万全な体制で冬を迎えたいと考えているため、協力願う。

2. 議事

(1) 10月1日付組織機構案について【総務部】～要点抜粋

◎資料に基づき、総務部長説明

- 組織機構の見直しについては、ガーデンフェスタ北海道2022の終了に伴い、緑化フェア推進室を縮小することから、主に緑化フェア推進室の職員を行政課題に対応するため、各部署に配置し編成した。
- 主な組織・機構の内容として、自治体DXの推進のため、総務課に担当職員を増員した。保健福祉部については、令和5年度に開催されるインターハイに対応するため高校総体主査を新設した。また、経済部に花のまちづくりに対する市民意識やメイン施設である「はなふる」を今後の市政に反映させるため、次長職を新設した。
- 人事異動内示は9月21日10時を予定しており、9月20日の議会終了後に内々示を行うため、人事異動がある部長職においては、自席で待機願う。また、9月21日の8時50分から臨時庁議にて人事異動内示を行う。

(副市長)

緑化フェア推進室の職員が減るため、その分の職員が各部署へ配置される。今回の組織機構の見直しに伴い、その他の職員の異動も行う。来年の4月には推進室が解散となるため改めて組織機構の見直しを行うため、半年間はこの体制でいきたい。

(2) 中期財政収支見通しについて【総務部】～要点抜粋

◎資料に基づき、財務室財政課長説明

- 令和4年度は、当初予算をベースに交付税の本算定の結果などを反映して推計した。最終的収支は▲2億7,700万円となっているが、財源対策としての財政調整基金を繰り入れると収支は0円となる。
- 令和5年度以降は、歳入・歳出予算ともに令和4年度予算をベースに影響の大きな予算では各担当課の推計値を採用したほか、経済成長率や人口推計などを用いて推計した。経常収入の推移は、市税収入や、譲与税・交付金収入の増加を見込み、全体的に若干増加となる推計となった。経常支出の推移は、扶助費や補助費の増加が見込まれ、若干増加となった。その結果、経常収支差額は令和5年度の1億3,400万円から、令和8年度では▲800万円と推計している。政策的事業充当一般財源の額は政策予算の精査中だが、現時点では令和4年度の政策的事業と同程度の予算規模を想定している。また、基金を活用することで一般財源の負担を軽減することを想定しており、投資経常合わせて2億7,500万円と推計した。最終的収支は令和5年度の▲1億4,100万円から、令和8年度の▲2億8,300万円となった。マイナス収支は、財政調整基金の繰入れによる財源対策を想定している。
- 財政運営の基本指針に掲げる指標の予測は、経常収支比率は目標値の93.9%に対し、現時点では目標内の推移となっているが、今後の燃料価格や物価高騰の影響や、影響に対する交付税措置などの変動要素がある。
- 地方債現在高は、既存起債の償還額と政策的事業から想定される新規発行額から推計した。総合計画期間内で残高を増やさない目標となっている。なお、基本指針改定時に産廃特会の閉鎖は想定していなかったことから、目標値に旧産廃特会分は考慮していない。そのため、旧産廃特会を除いた数値で作成した。
- 実質公債費比率は、目標値を6.4%程度としている。今後、ごみ処理関連施設等の地方債償還開始により増加が見込まれるが、令和5年度をピークに目標内で推移すると見込んでいる。今年度以降の起債額が想定以上になると、数値は上昇することになる。
- 財政調整基金残高の推移について、収支不足額への財源対策として、財政調整基金を繰り入れる想定で推計した。令和4年度の繰入額は、予算同額の2億7,700万円。このまま基金の取り崩しや積立がなかった場合、期末残高は20億5,000万円となる。令和5年度以降も同様の考え方で推計となる。今年の推計から一定程度の決算剰余金の積立額を想定しており、今後の予算執行状況や予算編成次第ではあるが、標準財政規模の10%である約16億円以上が確保できる見込みである。
- 政策的事業充当一般財源は、経常収支差額及び基金の活用による財源の確保を目標としている。寄附金により積み立てた基金を活用することで、政策的事業充当一般財源を軽減しながら、政策予算全体の事業費は、令和4年度予算並みに確保する想定で推

計した。

- 令和5年度予算の概観について、物件費や扶助費、特会繰出金の増加に対して交付税や譲与税など、特に一般財源のうち依存財源では、どの程度確保できるのか、見通しが難しい状況にある。一方で、昨今の物価高騰や最低賃金の上昇など、外的要因による経費の増加が想定される。具体的な予算編成においては、枠配分経費や別途査定経費の財源確保が課題となる。職員においては持続可能なまちづくりのため、ご理解とご協力願う。

4. その他

【経済部緑化フェア推進室】

◎ガーデンフェスタ終了後のまちづくりに関する職員提案について

前回の庁議にて検討資料の作成を依頼したが、現時点で個人4名から13件、保健福祉部から4件の提案をいただいた。提出期限までまだ募集しているため、多くの提案をお願いしたい。

◆令和4年9月21日開催庁議◆

1. 市長挨拶

- 第3回定例会開催中であり、職員においては一般質問等対応いただき感謝申し上げます。残り1日についても対応をお願いしたい。
- 今日の議題は10月1日付の人事異動の内示である。ガーデンフェスタ北海道2022に対応するため、各所管より人員を募り、緑化フェア推進室を組織していたが、皆様のご協力もあり無事に終了した。事業の実施により多くの成果をあげたのではないかと思います。今回の経験を今後活かしていかなければならない。事業は終了したが残務があるため、組織の規模を縮小し職員を通常の業務に戻っていただくための人事異動が今回のメインとなる。自治体DXやインターハイの事業等について特化して進めていかなければならない。それらを推進するための施策として今回組織した。各部様々な思いがあると思うが来年の3月までこの体制でよろしくをお願いしたい。

2. 議事

(1) 10月1日付人事異動内示について【総務部】～要点抜粋

◎資料に基づき、総務部長説明

- 今回の人事異動についてはガーデンフェスタ北海道2022の終了に伴い、全国都市緑化北海道フェア推進室の組織体制を見直し、縮小した。
- 縮小に伴う異動する職員は、自治体DXや全国高等学校総合体育大会など主に今後の事業推進への対応が必要と考えられる部署へ配置した。なお、年度途中の異動であることから異動対象者は必要最小限としている。

- 経済部では、ガーデンフェスタ北海道2022の実施により醸成された「花のまちづくり」に対する市民意識を未来へ引き継ぎ、フェアのメイン会場であった「はなふる」が賑わいの拠点となる取組を推進するため次長職を新設した。
- 今回の異動者総数は19名となり、昇任者数は次長級1名となる。内示については庁議終了後、10時に職員ポータルへ掲載するため、それまで情報の取扱いに留意願う。

4. その他

【生活環境部】

◎ノーカーデーの実施について

人口減少やモータリゼーションの進展、新型コロナウイルス感染症の影響等により公共交通の利用者が減少し、交通事業者を取り巻く環境は厳しい状況にある。道では北海道交通政策総合指針に基づき、公共交通の需要拡大と利用定着を推進、脱炭素型ライフスタイル・ビジネススタイルの普及に寄与することから、令和元年度から実施しているノーカーデーを今年度においても実施する。期間中、マイカーで通勤している職員においてはJRやエコバスなどを活用し、ノーカーデーの実施に協力願う。

【実施期間】9月20日（火）～10月30日（日）

（市長）

この機会に車通勤について見直してほしい。仕組みなどについては職員課で検討するなどしてほしい。職員においては、いつもより早く起きて徒歩で来る、エコバスを利用するなど考えていただきたい。

【経済部緑化フェア推進室】

◎ガーデンフェスタ終了後のまちづくりに関する職員提案について

先日依頼していた職員提案について、個人9名から24件、保健福祉部（障がい福祉課、国保医療課）から5件の提案をいただいた。今後、いただいた提案を取りまとめ庁議でも紹介していきたいと考えている。ご協力に感謝申し上げます。

【経済部】

◎「シン・えにわん産業祭2022」の開催について

9月24日（土）に産業祭が3年ぶりに開催される。今回は、はなふるで開催し、初めて屋外での開催となる。姉妹都市、友好都市である和木町及び藤枝市の交流ブースも出展されるため、お時間のある方はぜひ参加いただきたい。